



### 長屋文化に見るすみだ

— 心豊かな生活と文化の継承 —

本号は、生活文化としての長屋の役割や、そこで育まれる暮らしの豊かさについて、京島長屋文化連絡会の後藤大輝さんにお話を伺いました。

\* \* \* \* \*

いまから12年前のこと。墨田区京島、キラキラ橋商店街に面する長屋に引っ越してきた僕に訪れたのは、ドラマのような日常でした。「外」から越してきた僕のことを、最初は警戒していたはずの隣近所の方々と交わした挨拶は、日を増すごとに親しみに変化していきました。おばあちゃんから夕飯のおかずの差し入れを頂いたり、何か相談すると新しい知り合いを紹介して頂き、自然とまちへの顔通しをしてもらいました。近所の子ども達も、改装している僕たちにも興味を持って遊びにくる。会話から、このまちの歴史を知るようにもなりました。

3年ほど経つと、密接した近



所付き合いの「見られているプレッシャー」が、「見てもらっている安心感」に変わっていきまし。このまちで歳をとっていくのは良いかもしれない、と思っただけです。これが「ふるさと」という感覚かもしれません。そしてこの感覚も思っていた。このまちで豊かに育まれる隣人関係は、暮らす人の人柄だけでなく、「長屋」が歴史的に培ってきた生活文化なのではないか、と。

長屋とは、壁を共有する複数

の住戸がひとつ屋根の下にあわせる複合住宅のことをいいます。1階の玄関口がまちに面し、多くは外から人が立ち寄りやすいような軒下があり、土間スペースを擁しています。こうした建物の特徴も、自然なご近所付き合いを促し、いわば「粹な関係」を築きあげる要素となっているのではないのでしょうか。

長屋と狭い路地が入り組むこのまちでは、支え合いの精神が生きています。困ったときはお互い様だと、誰かの緊急時に駆けつけてくれる、素顔は一人の住民の、スーパーマンがたくさ

んいます。密集した暮らしを織りなすなかで、誰かの有事は他人ごとではない、というのも理由でしょう。このまちの課題でもある防火防災に関する意識の高さが、懐深い連帯感と重ね映り心に沁みわたります。このまちを一言で言うと、親切丁寧。日頃からの付き合いがあれば、気になる時に文句や注意も含めて言いたいことが言える仲。これは、「べらんめい」を愛情たっぷりに言えるおばあちゃんが教えてくれたことでもあります。

長屋は、災害時の危険要素の

多い建物として負の面が多く語られてきました。しかし、東京における戦前や戦後直後の人々の暮らしを伝える大事な文化財であり、現代の日本で豊かに暮らししていく大事なヒントがたくさん詰まっているものです。長屋が戦前から育んできたユニークな生活文化の価値を再評価し、現在なお残る風景を次世代に継承していく。長屋を単に建物として見るのではなく、「長屋文化」という失ってはならない灯として見つめ直し、再構築していく必要性を感じています。

具体的な取り組みとして僕は、このまちや長屋建物に寄り添うアーティストたちと共に、「すみだ向島EXPO2020」という芸術祭の開催を9月中旬に予定しています。コロナ禍において人と空間と時間の関係が問われる状況だからこそ、「隣人と幸せな日」というテーマに取り組みます。ぜひ一緒に、これからの文化を育てる知恵を絞りありませんか。すみだの未来、次世代につながる心と形について。僕はそう、願っています。

(京島長屋文化連絡会)

後藤 大輝

より親しまれる施設へ

# フクシ・エンタープライズ 墨田フィールド(墨田区総合運動場)



## ■開場までの経緯

令和元年12月1日、墨田区堤通にフクシ・エンタープライズ墨田フィールド(墨田区総合運動場)がオープンしました。

これまで、墨田区には陸上競技場がなかったため、区立小・中学校の運動会や区立中学校連合陸上競技大会などは、区外の競技場を借りて実施していました。このような状況から、区内に陸上競技場の整備を望む声があり、平成27年度に(仮称)総合運動場等整備基本計画を策定し、旧鐘淵中学校跡地に総合運動場が整備されることとなりました。

## ■総合運動場の役割

健康づくりから競技スポーツまで、多様に活用できる総合的な運動場です。それだけでなく、この総合運動場を活動拠点として、地域や世代間の交流が促進されるよう、陸上競技場以外の施設も設けられています。地域の方々にも幅広く活用できる施設とすることで、地域コミュニティ活性化の役割も担っているのです。ここではその一部をご紹介します。

## ■施設紹介

総合運動場は、①陸上競技場と②セミナーハウスで構成されています。

陸上競技場には、全天候舗装の300mトラックがあり、個人で利用ができる火曜日及び木曜日には、ランニングや陸上の部活動等で利用されています。念願であった小・中学校の運動会や連合陸上競技大会も、今年度実施が予定されています。人工芝のインフィールドは、フットサルや少年サッカーのコート、ラグビーの練習場所等として利用することができます。多くの方々にご利用いただいています。

総合運動場の特徴の一つが、宿泊施設を備えたセミナーハウスが併設されている点です。

平成23年3月まで、旧堤小学校



トラック及びインフィールド



セミナーハウス(宿泊室)

(現在の桜堤中学校の位置)内にセミナーハウスがあり、青少年や社会教育団体の合宿等で利用されていました。宿泊ができる施設を望む地域の声を反映し、青少年の活動拠点となるセミナーハウスを総合運動場に併設しました。フィールドを利用したサッカー合宿、会議室や多目的室を活用した研修会など、様々な使い方が可能です。

## ■特色ある取り組み

より多くの方にフクシ・エンタープライズ墨田フィールド(墨田区総合運動場)を知っていただき、親しみを持ってもらうため、毎週水曜日の15~17時は、フィールドを無料開放しています。この時間帯は、ランニングなどでのトラッ

ク利用や、インフィールドでの球技も可能です。また、平日中の時間を活用し、近隣保育園・幼稚園を対象に、フィールドの無料開放を試行実施しました。遊び場に限られている子どもたちに、のびのびと身体を動かしてもらい、運動やスポーツに親しみを持ってもらうことを目的としています。

今後ともこうした取り組みを通じて、コミュニティの場として地域に愛される施設となることを心掛けて、運営していきます。

(注) 新型コロナウイルスの影響等により、事業内容や運営方法が変更になる場合があります。(スポーツ振興課)

## 施設案内 ☎ 03-3611-9070



### ◆陸上競技場◆

300mトラック×6レーン、110m直送路、各種跳躍競技助走路・投てき競技  
フットサルコート3面(1面20m×40m)  
少年サッカーコート1面(50m×68m)

### ◆セミナーハウス◆

トレーニング室、多目的室、会議室、調理室、宿泊室(最大60人宿泊可能)、浴室